

生活科学習指導案

日時 平成28年5月19日(木) 2校時

児童 1年生

授業者

場所

1 単元名 「がっこうたんけん」

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説生活編の中の内容(1)を扱った単元であり、学校の施設の様子及び先生などの学校生活を支えている人々や友達のことがわかり、楽しく安心して遊びや生活ができるようになることをねらいとしている。学校生活の様子や人々のことがわかるということは、実際に教室を利用したり、そこにいる人たちと関わったりすることを通して、教室の位置や特徴、役割、人の存在や働きなどに気付き、より学校を身近に感じていくことである。また、楽しく安心して生活するためには、教室や学校を支えている人々と繰り返し関わることで自分の学校に愛着を持つことや、学校生活のきまりやマナーなどの公共性に目を向けることが大切である。

(2) 児童観

省略

3 単元目標

学校の施設を利用したり、先生や友達、学校生活を支えている人々とのかかわりを深めたりしながら、学校生活を豊かに広げ、楽しく安心して遊びや生活ができる。

4 評価規準及び道徳的学び

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き	道徳的学び
ア 学校の施設、先生や友達などに関心を持って関わろうとしている。	ア 行ってみたい場所や、やってみたいことを選んで活動している。	ア 施設の位置や特徴、役割、学校を支えている人々の存在や働きなどがわかっている。	2-(1)「礼儀」 出会った人に、気持ちのよい挨拶をする。
イ 施設の利用の仕方やマナーを大切に、楽しく安心して遊んだり生活したりしようとしている。	イ 施設の利用や学校を支えている人々とのかかわりについて振り返り、新たにやりたいことを見付けている。 ウ 自分なりに目的を持って活動したり、次の活動に向けて自分なりに準備を進めたりしている。	イ 学校の施設はみんなのものであること、学校にはみんなが気持ちよく生活するためのマナーがあることに気付いている。 ウ 学校の施設についてわかることが増えたり、人とのかかわりが深まったことに気付いたりしている。	4-(1)規則尊重・公德心 探検のきまりを守って活動する。 4-(4)愛校心 先生や学校を支えている人々と親しむ。

5 単元の指導計画

時	主な学習活動	教師の働きかけ	評価
1 2	<ul style="list-style-type: none"> 2年生と一緒に学校探検に出かけ、「自分でもっと行ってみたい」、「もっと知りたい」などの思いを持つ。 <p style="text-align: center;">2年生と一緒に学校探検に出かけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> これから自分で探検に行くときに必要な道具やきまりについて考える。 <p style="text-align: center;">1年生だけで学校探検に出かけよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校にはまだよく知らない場所があることを全体で確認した上で、2年生との出会いを設定する。 <ul style="list-style-type: none"> 2年生との探検で感じたことを基に、自分たちで道具やきまりを考えることができるようにする。 	関ア
3～7時：それぞれが自分の行きたい場所へ探検に出かける。			
3	<ul style="list-style-type: none"> 道具やきまりを確認する。 自分が行きたい場所に探検に出かける。 <ul style="list-style-type: none"> 全体交流し、次の探検でやりたいことを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> よく知らない場所があることに気付いた上で、きまりを意識して探検に出かけるようにする。 拡大地図を用いて、どんな教室があったかを中心に交流を進めていく。 	関イ 思ア
4	<ul style="list-style-type: none"> きまりを確認する。 自分が行きたい場所に探検に出かける。 全体交流し、次の探検でやりたいことを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 拡大地図を提示し、まだよく知らない場所に目を向けることができるようにする。 教室の確認とそこで見付けたものを中心に交流を進めていく。 	気ア
5	<ul style="list-style-type: none"> 拡大地図で教室の位置を確認する。 自分が行きたい場所に探検に出かける。 全体交流し、次の探検でやりたいことを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> よく知らないものがあることに気付いた上で、探検に出かけるようにする。 見付けたものや、もっと知りたいことについて交流していく中で、人に目を向けることができるようにする。 	気ア
6 本 時	<ul style="list-style-type: none"> 自分の探検の見通しを持つ。 自分の思いを持って探検に出かける。 全体交流し、次の探検でやりたいことを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の幅が広がってきたことに気付いた上で、探検に出かけるようにする。 活動の中で気付いたことやわかったことを中心に交流を進めていく。 	思ウ
7	<ul style="list-style-type: none"> 自分の探検の見通しを持つ。 自分の思いを持って探検に出かける。 全体交流し、これからやってみようことを見付ける。 <p style="text-align: center;">これからやりたいこと、伝えたいことを見付けたよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が知りたいこと、やりたいことをはっきりさせて、探検に出かけるようにする。 気付いたことやわかったことを基に、これからの活動の見通しを持つことができるようにする。 	思イ
8～10時：それぞれの思いの実現に向けて活動する。			
8	<ul style="list-style-type: none"> 自分の活動の見通しを持つ。 それぞれの思いを伝える準備をしたり、やりたいことを行ったりする。 全体交流し、次の活動までにやっておくことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いをはっきりさせた上で、活動することができるようにする。 適宜思いを伝える場を設定する。 活動中の思いを中心に交流を進めていく。 	関ア 思ウ
9	<ul style="list-style-type: none"> 自分の活動の見通しを持つ。 それぞれの思いを伝えたり、やりたいことを行ったりする。 全体交流し、自分たちの思いを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いをはっきりさせた上で、活動することができるようにする。 適宜思いを伝える場を設定する。 活動を終えて感じたことを中心に交流を進めていく。 	思ウ 気イ
10	<ul style="list-style-type: none"> 附属小クイズや先生クイズに答え、学校の施設や人々について詳しくなった自分に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちの活動を基にクイズを出し、学校の施設や先生たちについて詳しくなったことに気付くことができるようにする。 	気ウ

6 小中連携の視点（第3学年社会科との接続）

	小学校1学年生活科	小学校3学年社会科
学習内容	学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことがわかり、楽しく安心して遊びや生活をする。	学校の周りの地域の様子を観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。
目指す子供の姿	学校の施設について詳しくなったこと、学校の人々とのかかわりを深めた自分自身に気付く、楽しく安心して生活していこうとする。	地形の様子、土地の使い方という視点で、学校の周りの地域の様子を俯瞰して見つめたり、まとめたりする。

単
元
の
序
盤

I 状況的興味の喚起・維持を促すために

対象との出会いの工夫

○2年生と学校探検をする時間の設定

一ヶ月の学校生活を写真で振り返り、学校にはまだよく知らない場所があることを認識した上で、2年生と一緒に学校探検をする時間を設定する。2年生には学校の全体像とおすすめの教室をいくつか紹介してもらうこととする。また、グループごとに活動することで児童の経験や知識にばらつきが生じるようにし、1年生だけでの探検がより深まりのあるものとなるようにする。

○範囲の限定

入ってはいけない場所にあらかじめ表示をしておくことで、活動できる範囲をはっきりさせ、その範囲の中で獲得できる気付きに向かっていくことができるようにする。

感覚的な気付きを獲得しながら、学習対象と向き合う子供

単
元
の
中
盤

II

繰り返し対象に関わる場の設定

○繰り返し探検に出かける単元構成

2年生との探検を通して感じた「もっと探検したい」などの思いを持って、繰り返し探検することができるように単元を構成する。探検はそれぞれ個での活動を基本とするが、活動していく中で自然に生まれるグループについては認め、人と関わりながら、楽しく活動することができるようにする。

II-(1) 内的活動の高まりを促すための工夫

「見付ける」「比べる」「たとえる」などの多様な活動を生み出す教師のかかわり

○個別のかかわり

探検中の子供の思いを丁寧に見取り、思いを実現させるため、思考を連続させるために声かけや問い返しを行う。また、子供たちの思いや気付きの段階に合わせて、場所、もの、はてな、人などについてメモするカードを提示したり、前時までの思いを基にヒントとなる情報を提示したりする。

○全体へのかかわり

拡大地図、写真などを示しながら、友達の発言と関連させて交流を進め、大切なポイントがわかるように板書に残していく。その際、場所やものから人へと、関わる対象が変わっていくように交流のテーマを設定したり、教師が交流の舵取りを行ったりする。また、拡大地図、各教室の名前表示、各教室のドアに掲示するメッセージなどを、前時の交流を基に段階的に提示していく。

思考的・関連的な気付きを積み重ねていく子供

単
元
の
終
盤

III 発達した個人的興味の出現を促すために

他者と関わろうとする場の設定

○思いを伝える場、かかわりを深める場の設定

学校の施設や人とのかかわりがある程度充実した段階で、関わってきた人に対して思いを伝えたり、さらに関わろうしたりする時間を設定する。

【子供たちの思いの想定】

・学校のことは詳しくなったよ。

↓

・先生たちともっと仲良くなりたいな。

↓

・全員の顔と名前を覚えよう。

・サインを集めよう。

・名刺を作って配ろう。

・手紙を書こう。

・プレゼントを作ろう。

III-(1) 内的活動の高まりを促すための工夫

さらなる思考を促す教師のかかわり

○個別のかかわり

思いを実現させるため、思考を連続させるために、個の見取りを基に声かけ、問い返しを行う。また、それぞれの子供の活動内容に合わせて、具体例の提示や表現の場の設定を行う。

○全体へのかかわり

写真を示しながら、友達の発言と関連させて交流を進めることで、それぞれのゴールをイメージできるようにする。

III-(2) 内的活動の高まりを促すための工夫

単元における自分たちの活動を振り返る場の設定

○附小クイズ、先生クイズ

子供たちの活動を基に用意したクイズに答えることを通して、学校の施設や人について詳しくなった自分、知らなかったことがわかるようになった自分に気付くことができるようにする。

自分自身への気付きを獲得していく子供

場所やものを見付けながら学校探検を行ってきた子供たちは、前時において「知らないこと」や「はてな」は先生や学校にいる人に尋ねることで解決することができるという見通しを持っています。先生方に質問したり、関わろうとしたりする児童も多いかと思しますので、その際に対応していただきますよう、よろしくお願いいたします。

8 本時について（6/10時間目）

(1) 研究とのかかわり

本時においては、主に研究の視点ⅡとⅡ-（1）にかかわって、手立てを講じていくことになる。
 手立てⅡでは、繰り返し探検を行う活動を設定する。1年生だけの探検は5回設定しており、本時はその4回目にあたる。今回は、場所やものから人へ興味が向き始めている子供たちが、知りたいことや聞きたいことを基に探検をしたり、先生たちと触れ合ったりする場となることが想定される。
 手立てⅡ-（1）では、探検中の子供の思いを丁寧に見取り、適宜声かけや問い返しを行うことによって、知りたいことを調べたり、次にやりたいことや知りたいことを見付けたりすることができるようにする。また、前時まで思いを実現させるためのヒントとなる情報を個別に提示することによって、自分の思いをはっきりさせて探検を行うことができるようにする。学級全体へのかかわりとしては、人に注目させるために各教室のドアにメッセージを掲示した状態で、探検を行っていく。また、教室に戻ってきてからは、活動中の写真を示しながら交流を行い、友達の発言と自分の思いを関連させながら伝え合うことができるように話を進めていく。そして、交流の内容は大事なポイントがはっきりするように意図的に板書していくことによって、次の活動の見通しを持つことができるようにする。

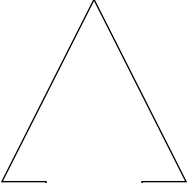
(2) 本時の目標

自分なりの思いや目的を持って探検に行ったり、学校の先生たちと触れ合ったりし、次の活動への見通しを持つことができる。

(3) 本時の展開

○児童の主な学習活動	□教師の働きかけ・留意点 ☑自己肯定感	評価 個に応じた指導 (△発展的▲補充的)
<p>○今日の探検の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の名前や場所はわかってきたぞ。 ・〇〇について気になっているんだよね。聞いてみたいな。 ・今日は先生たちがいっぱいいるよ。お話するチャンスだね。 <p style="text-align: center;">たんけんにいったり、お話をしたりしよう。</p> <p>○自分の思いを持って学校を探検したり、先生と触れ合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は先生たちがたくさんいる日だね。 ・もう一度〇〇室に行ってみよう。 ・まだ〇〇室に行っていないから、〇〇室に行こう。 ・〇〇室について、わからないことがまた見つかったよ。 ・～について、□□先生にお話を聞いてみよう。 ・緊張したけれど、上手にお話することができたぞ。 ・聞きたいことを書いてから質問しに行こう。 ・いいことを聞いたな。みんなに報告しよう。 <p>○探検で見付けたことやわかったことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・□□先生に、〇〇室には～があることを教えてもらいました。 ・僕が調べていたものは～「〇〇」といって、～をするものでした。 ・□□先生とこんな話（こと）をしました。 ・いいなあ。私もやってみたい。僕もお話したいな。 ・僕が見付けたもの（こと）と同じだ。 ・私も調べたけれど、～なのは知らなかったな。 <p>○次の探検の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと先生のお話を聞いてみたいな。 ・もっと～について調べたいな。 ・次は～してみたいな。 	<p>□前時までの活動の様子を写真で提示し、自分たちの活動の広がり気付きながら、活動の見通しを持つことができるようにする。</p> <p>□探検の時間を設定する。その際、十分な時間を確保できるようにする。Ⅱ</p> <p>□各教室のドアに、人に注目させるためのメッセージを提示しておく。Ⅱ-（1）</p> <p>□前時までの思いを実現させるためのヒントとなる情報を個別に提示する。Ⅱ-（1）</p> <p>□探検中の子供の思いを見取り、適宜声かけ、問い返しを行う。Ⅱ-（1）</p> <p>□写真を提示しながら交流を行う。その際、友達の発言と自分の思いを関連させながら伝え合うことができるように話を進めていく。Ⅱ-（1）</p> <p>□大事なポイントがはっきりするように意図的に板書していく。Ⅱ-（1）</p> <p>☑交流の視点が次の時間の活動に繋がりそうだということについて価値付けをする。</p> <p>□次の時間にやりたいことを考える時間を設定する。</p>	<p>△思いを広げながら活動している児童については、活動中に称賛し、交流場面で適宜学級全体に紹介しながら価値付けを行っていく。</p> <p>▲なかなか思考が広がらない児童については、個別のかかわりの他に、交流場面でのやりとりを大切にし、友達の映像や発言から視野を広げることができるようにする。</p> <p style="text-align: center;">【思ウ～ 観察・発言・記述】</p>

本單元における気づきの質の高まりのルーブリック

		自分自身への気づき		 気づきの質の高まり	
自覚的			・先生たちと仲良くなれたよ。 ・先生の名前を全員覚えたよ。 ・僕は先生たち全員のサインを集めることができたよ。 ・〇〇先生に手紙を渡したら喜んでくれたから嬉しかったよ。 ・〇〇先生のことは何でも知っているよ。 ・学校のことが詳しくなったよ。 ・□□室のことは何でも知っているよ。 ・前よりも教室の名前がわかるようになったよ。		など
	思考を伴った気づき	関連付けられた気づき	・ほとんどの教室について調べたよ。 ・〇〇先生の名前を覚えたよ。 ・どうして□□室に～があるのかがわかったよ。 ・□□室にある～は、～なんだって。 ・〇〇先生と、～の話をしたよ。 ・〇〇先生は、～をしてくれる人だよ。 ・給食室には、～をしてくれる人がいるよ。 ・給食を運んでくれている人がいたよ。 ・この道具はどうやって使うんだろう。 ・この教室は、どんなときに使うんだろう。 ・この教室には、どうして～があるんだろう。 ・□□室に～があったよ。 ・こっちにも教室があったんだ。 ・この教室は□□室って言うんだ。		など
感覚的	単体の気づき	・2年生は優しいな。あいさつが立派だな。 ・この教室は何をしたらいいのか？ ・この教室は～をしたらいいんだね。 ・ここが職員室なんだね。 ・学校はとっても広いね。 ・音楽室には楽器がたくさんあるんだね。 ・この教室は広いね。～だね。			など
無自覚な気づき					